

保健体育科学習指導案

日 時 令和元年11月8日(金) 5校時

場 所 体育館

学習者 1年A組

(男子14名、女子8名、計22名)

指導者 高橋 季央

I 生徒の実態(新体力テスト、事前アンケートの結果より)

1年A組の生徒は、保健体育の学習に意欲的に取り組む生徒が多く、仲間の頑張りを認めようとする雰囲気がある。指示されたことには素直に取り組むことができる反面、自らが考えて動こうとする積極性に乏しい。単一学級で、小学校から相互の関係性が固定化し、競争心が低い。特別な支援を必要とする生徒の割合は22.7%と高い。22名中14名が運動部に所属しているが、8名の生徒は総合文化部に所属し運動経験や日常の運動機会が少ない傾向にあり、運動能力や体力についても同様に差が見られる。

今年度の新体力テストの結果(1年生)

| | | 握力(kg) | 上体起し(回) | 長座体前屈(cm) | 反復横跳び(点) | 20mシャトルラン(回) | 50m走(秒) | 立ち幅跳び(cm) | ハンドボール投げ(m) |
|----|--------|--------|---------|-----------|----------|--------------|---------|-----------|-------------|
| 男子 | 県平均H30 | 25.04 | 24.07 | 40.85 | 49.19 | 70.17 | 8.65 | 182.86 | 18.44 |
| | 花輪中R1 | ▼23.77 | ◎24.23 | ▼40.54 | ◎49.33 | ▼59.82 | ◎8.60 | ▼176.17 | ▼16.08 |
| 女子 | 県平均H30 | 22.41 | 21.16 | 44.37 | 46.25 | 53.59 | 9.11 | 167.80 | 12.31 |
| | 花輪中R1 | ▼18.63 | ▼20.88 | ▼39.25 | ▼46.00 | ▼45.00 | ◎9.05 | ▼155.38 | ▼11.88 |

※県平均を上回っている項目：◎ 県平均を下回っている項目：▼

単元の事前アンケートの結果は以下の通りである。運動が好きという生徒は全体の77%と多い。しかし「嫌い」と回答する生徒もおり、運動に対する意欲はクラス内で二極化している現状がある。バスケットボールについてはクラスの3分の1が否定的なイメージを持っていることがわかった。理由としては、「シュートがなかなか入らない」「ドリブルが難しい」「パスが繋がらない」などが挙げられ、ボール操作や空間に走りこむといった基本的な技能に関する知識や動き方がわからない生徒もいる。

| | 好き | どちらかといえば好き | どちらかといえば嫌い | 嫌い |
|-------------|-----------|------------|------------|----------|
| 運動が好き | 50% (11人) | 27% (6人) | 0% (0人) | 23% (5人) |
| バスケットボールが好き | 32% (7人) | 36% (8人) | 18% (4人) | 14% (3人) |

II 単元の構想

1 単元名 E 球技 ゴール型 『バスケットボール』

2 単元の目標

ア【関心・意欲・態度】

バスケットボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレーを守ろうとすること、

分担した役割を果たそうとすること、作戦などについて話し合いに参加しようとする
ことなどや、健康・安全に気を配ることができる。

イ【思考・判断】

ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身につけるための運動の行い
方のポイントを見つけることができる。

ウ【技能】

ボール操作と空間に走りこむなどの動きによって、ゴール前での攻防を展開できる。

エ【知識・理解】

バスケットボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力など
を理解し、知識を身につけることができる。

3 単元観

バスケットボールは、球技の中で「ゴール型」として位置づけられ、相対する2チー
ムが1つのボールを媒介して、個人的集団的技能による攻防を展開し、限られた時間内
に相手ゴールにより多くシュートを決めることによって勝敗を競うスポーツである。ま
た、シュート、パス、ドリブルなどの運動が継続して行われ、敵と味方の動きを把握し、
それに対応した総合的な判断力が要求される運動である。

本単元では、前半で基本的なボール操作やシュートを学習し、後半では人数を減らし
た簡易なゲームにおいて、空間に走り込むようなボールを持たないときの動きを扱い、
それを手がかりとしてゲームにおいて仲間と連携した動きで攻防を展開させたい。また、
チームで攻撃の作戦をたてるおもしろさを体験し、それが成功したときの喜びを分かち
合うことや、一人ひとりが協力し合うことの大切さを学ばせたい。

4 指導観

- (1) 「ボール操作」や「ボールを持たないときの動き」などを基本的な技能ととらえ、身につ
けることを狙いとし、その技能を活用した簡易なゲームを展開する楽しさを感じさせたい。
- (2) 技能の定着を目指し、ひとりひとりのレベルに合った課題に対してスモールステップで
成功体験を積み、できる楽しさを感じさせることで学習への意欲を高めたい。
- (3) 口頭による指示のみでは不足する生徒がスムーズに学習活動に移ることができるよう、
掲示物で支援する等の環境を整え、チームで協力して学習することを意識させたい。

5 研究主題との関連

保健体育科における発問の工夫とは、生徒の自由な発想を促したり、その場面における
事象を多面的・多角的に捉えさせたりすることと考えた。多様な情報や考えから、既習
の技能や知識と結びつけ考えたり、違う視点から課題解決の方法を考えたりすることがで
きるよう、発問の設定を心がけた。

本単元では、生徒自身が焦点を絞って課題を解決できるよう、思考を働かせることがで
きる的確なタイミングで発問を投げかけていく。また、バスケットボールの基礎的な動き
やボール操作をルーティン化したウォーミングアップを実施し、主体的に活動させる導入
を毎時間設定した。さらに、自らの考えを交流しながら対話を通して仲間と共に学習を深
めさせる場面を多く設けている。

6 指導及び評価、まなびの計画

| 時 | 主な学習内容 | 学習課題 (■) と 主な学習活動 (○) | 評価規準 (評価方法) |
|---|---|--|--|
| 1 | バスケットボールの特性 や成り立ち、技術の名称や 行い方 学習の進め方・見通しを持 つ | ■バスケットボールのルー ルやの学習の見通しを持と う ○学習の流れ、バスケット ボールの特性や成り立ち、 技術の名称や行い方、関連 して高まる体力を理解する | ・技術の名称や行い方につい て、学習した具体例を挙げて いる。(観察・ワークシート) |
| | | 主体的まなび 対話的まなび 深いまなび | 【知識・理解】 |
| 2 | ボールハンドリングやパ ス、ドリブルの技能練習 (サーキットと関連させ て) | ■ドリブルやパスなどのボ ールの扱いに慣れよう ○ハンドリング、基礎的な パスやシュートを練習する | ・ボール操作を身につけよう と積極的に授業に取り組ん でいる。(観察) |
| | | 主体的まなび 対話的まなび 深いまなび | 【関心・意欲・態度】 |
| 3 | セットシュートとレイア ップシュートの技能練習 (サーキットと関連させ て) | ■シュートのポイントをお さえよう ○セットシュートとレイア ップシュートのポイントを 考えながら練習に取り組む | ・シュートにおける自己の課 題を見つけている。(実技観 察・学習カード) |
| | | 主体的まなび 対話的まなび 深いまなび | 【思考・判断】 |
| 4 | ハンドリングやドリブル、 シュートなど、個人技能の 課題解決練習 | ■自分の課題を解決するた めの練習方法を選んで練習 しよう。 ○自らの課題を確認しそれ に応じた課題解決練習を選 択する | ・提示された課題解決のため の練習方法の中から、自己の 課題に適した練習を選択し ている。(実技観察・学習カ ード) |
| | | 主体的まなび 対話的まなび 深いまなび | 【思考・判断】 |
| 5 | 空いたスペースに走りこ む動き・マンツーマンディ フェンス (ハーフコート3対2) | ■パスをつなぎ、よりシュ ートが決まりやすいところ を見つけよう ○パスゲームを通じて、ノ ーマークの仲間を探してパ スを出し、空間に走り込ん でボールをもらう動きに気 づく | ・技術の名称や行い方につい て、学習した具体例を挙げて いる。(観察・学習カード) |
| | | 主体的まなび 対話的まなび 深いまなび | 【知識・理解】 |
| 6 | カットプレーの攻撃の構 造を理解する。 (ハーフコート3対2) | ■空いたスペースに走り込 み、シュートをねらうカッ トプレーをやってみよう ○紹介されたカットプレー | ・ゴール前での攻防を展開す るために、空間に走りこむ動 きができる。(実技観察) |

| | | | |
|-----------|---|--|---|
| | | を練習し、構造を理解する | |
| | | 主体的まなび 対話的まなび 深いまなび | 【技能】 |
| 7 | チームごとにカットプレーのフォーメーションを考える (ハーフコート3対2) | <p>■オリジナルのカットプレーを考えてみよう ○それを参考に各チームで作戦(フォーメーション)を考える</p> | <p>・戦術などの話し合いに積極的に参加しようとしている。 (観察・学習カード)</p> |
| | | 主体的まなび 対話的まなび 深いまなび | 【関心・意欲・態度】 |
| 8 (本時) | チームで考えたカットプレーのフォーメーションの実践 パスを出す人・受ける人の工夫を考える | <p>■チームで考えた作戦を試し、空いたスペースにボールをつなぐために工夫できることを考えよう ○3対2のフォーメーションを試し、空いたスペースを有効に使いパスをつなぐ工夫を考える</p> | <p>・ボール操作やボールを持たないときの動きを身につけるための運動の行い方のポイントを見つけることができる。(実技観察) ・戦術などの話し合いに積極的に参加しようとしている。 (観察)</p> |
| | | 主体的まなび 対話的まなび 深いまなび | 【思考・判断】【関心・意欲・態度】 |
| 9 | リーグ戦① ルールを工夫し、高まった技能と作戦を使って、簡易なゲームを楽しむ | <p>■チームで考えた作戦を使いながら、フェアプレーでゲームを楽しもう</p> | <p>・チーム内で自分に任された役割について、仲間と協力できる場面を見つけている。 (実技観察・学習カード)</p> |
| | | 主体的まなび 対話的まなび 深いまなび | 【思考・判断】 |
| 10 | リーグ戦② ルールを工夫し、高まった技能と作戦を使って、簡易なゲームを楽しむ | <p>■チームで考えた作戦を使いながら、フェアプレーでゲームを楽しもう</p> | <p>・空いているスペースを見つけ、パスを出したり、受けたりすることができる。(実技観察) ・体調の変化、用具や場所など自己や仲間の安全に留意している。(観察)</p> |
| | | 主体的まなび 対話的まなび 深いまなび | 【技能】【関心・意欲・態度】 |

III 本時の学習

1 本時の目標

- ・ボール操作やボールを持たないときの動きを身につけるための運動の行い方のポイントを見つけることができる。
- ・戦術などの話し合いに積極的に参加しようとしている。

2 本時の展開

| | 活動内容 | □指導の内容 ●主な発問 ■生徒の活動 ◆予想される生徒の反応 | 留意点 (発問のねらい等) |
|---|--|---|---|
| 導入 (10分) | 集合 挨拶 健康観察 | □元気よく挨拶をさせる。 □体調不良、見学者の確認をする | ・3分前学習として、授業開始前にランニングをさせる。 |
| | 準備運動 スキルサーキット ハンドリング・ドリブル・ゴール下シュート・パス レイアップシュート | ■グループ内で声をかけあい、スキルサーキットで基本的技能を練習する。 □それぞれのスキルのポイントを意識させる。 | ・自己の体調に応じて動いたり、練習場所の安全を確認して行えたりするように声掛けをする。 |
| | <見通す> <つかむ> 本時の流れと 学習課題の確認 | □前時のふりかえりから、「ボールがうまくつながらない」というふりかえりを取り出し、課題意識を持たせる。 □本時の活動を見通し、流れを理解させる。 | |
| 本時の課題 シュートを打つために空いたスペースへボールをつなぐ工夫を考えよう | | | |
| 展開 (32分) | <さぐる> 実践① チームで考えた作戦 ハーフコート 3 on 2 | □前の時間に考えた作戦を試す ■ローテーションの中で作戦のうまくいったところと課題点を出し合う | ・練習がスムーズに進むよう、巡回して声をかける |
| | <かかわる> 課題解決活動 作戦通りにパスをつなぎ、シュートに結びつけられるような工夫を考える | ●パスを出す人・パスを受ける人、それぞれがどんな動きをすればパスがつながるのだろうか？ □3対2の状況で作戦どおりにパスをつなぐことができた状況を取り上げ、全体で考えさせる ■パスを出す人・パスを受ける人にわけて、工夫を考え、ホワイトボードに記入し、全体で共有する ◆パスを出す人：バウンドパスや上を通すパスを使う、パスフェイント（パスをするフリ）をする パスを受ける人：わざともらいたい方向とは逆に動く（フェイントをかける） | ・体を動かしながら思考することを声掛けによって促す。 |

| | | | |
|---------------------|--|--|--|
| | <p><広げる> 実践② チームで考えた作戦 オールコート 3 on 2</p> | <p>■パスを出す人と受ける人がそれぞれの工夫を意識したり、作戦を修正したりして、試してみる</p> | |
| <p>まとめ (8分)</p> | <p><ふりかえる> 学習のふりかえり</p> | <p>●チームでの作戦がどんな動きでうまくいったのだろうか？どんな動きが不足していたのだろうか？ □個人の学習カードにふりかえる視点を示し、ふりかえりを記入させる ■数名発表し、仲間の考えを全体で共有する</p> | <p>・具体的になにを学んだかを記述できるよう、ふりかえる視点を与える。</p> |
| | <p>健康観察 次時の確認 挨拶</p> | | <p>・次の時間への見通しを持たせる。</p> |

本時のまとめ

パスを出す人のパスの種類を変えたりパスフェイントをしたりする工夫や、パスを受ける人が行きたい方向と逆に一度動きフェイントをかけるような工夫によって、空いたスペースへボールがつながり、シュートを打つことができる。

3 評価項目

- ・ボール操作やボールを持たないときの動きを身につけるための運動の行い方のポイントを見つけることができる。
- ・戦術などの話し合いに積極的に参加しようとしている。

4 板書計画

| | | | |
|---|---|-------|---|
| 課 | <p>シュートを打つために 空いたスペースへボールをつなぐ工夫を考えよう</p> <p>カットプレー</p> <p>Q, パスをする人・パスを受ける人 パスを出す人</p> <p>どんな動きをすればパスがつながるだろう？</p> <p>各グループの 考え</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 5px;"></div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 5px;"></div> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">◎まとめ◎</p> | 授業の流れ | <ol style="list-style-type: none"> 1 あいさつ 2 スキルサーキット 3 課題確認 4 作戦実行① <ハーフコート> 5 考えてみよう 6 作戦実行② <オールコート> 7 ふりかえり |
|---|---|-------|---|